

高強度繊維形状変化測定機 (炭素・ガラス・アラミド繊維布帛等)

Section.

DRAPETEST

= 適応規格 = **DIN SPEC 8100**

= 概 要 =

炭素繊維表やガラス繊維の織・網加工後、コンポジットを行う際、織・編みの繊維組織がどのように変化するかを測定するために DRAPETEST を開発致しました。フラット形状でコンポジットする場合、織・編み組織は殆ど変化しませんが、球面加工する場合は予想外の隙間や整経ズレ、フィラメント糸分散を生じる場合があります、これはコンポジット後の強度に大きな影響をおよぼします。

DRAPETEST は、織・編みの状態で試料を半球面化し、その組織変化を測定する為の装置です。

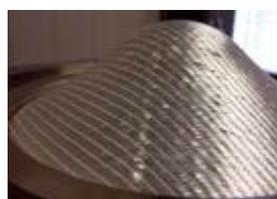
本装置は、DIN SPEC 8100 規格に対応しており、織・編み組織糸とコンポジット形状の関係開発に大きく貢献すると考えます。

= 仕 様 =

型 式	:	DRAPETEST
測 定 対 象	:	織・編み加工布
織 維	:	炭素繊維 ガラス繊維 アラミド繊維 等
測 定 項 目	:	球面化による形状・直線性変化
試 料 寸 法	:	310~330 φ mm
球 面 高 さ	:	100mm



ループ付ガラス布



ループ付カーボン布



ギャップ付カーボン布



ギャップ付ガラス布

*改良の為、仕様・外観は予告なく変更する場合があります。